

## 吾妻山の火山活動解説資料（平成 22 年 4 月）

仙台管区気象台  
火山監視・情報センター

大穴火口の噴気活動はやや高まった状態が続いています。5月6日（期間外）に、大穴火口の噴気孔周辺で硫黄が燃焼しているのを確認しました。火山性地震はやや多い状況で推移しています。5月4日（期間外）に継続時間約32分の火山性微動を観測しました。4月15日～20日にかけて実施したGPS繰り返し観測では、前回（2009年10月29日～11月2日）の観測結果以降、大穴火口を挟む基線で伸びを示す変化が観測されました。

火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、引き続き、火口内では噴気、火山ガスの噴出等がみられますので警戒が必要です。

平成19年12月1日に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

## 活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図2～7）

上野寺（大穴火口の東北東約14km）に設置してある遠望カメラによる観測では、大穴火口（一切経山南側山腹）からの噴気の高さは50～400mで推移し、噴気活動のやや高まった状態が続いています。

期間外の5月6日に「大穴火口で青白い噴気が今までと違う場所から出ている。また、5日夕方頃に大穴火口付近が赤く見えた。」という情報が吾妻山浄土平レストハウスから福島地方気象台に寄せられ、同日午後に現地調査を実施した結果、大穴火口のW-6噴気孔の周辺で硫黄が燃焼し、青白い煙が上がっているのを確認しました。また、硫黄が燃焼している個所が夜間には、赤又は白く光って見えるのを確認しました。

- ・地震や微動の発生状況（図8）

火山性地震は2009年10月以降、やや多い状況で推移しています。5月4日（期間外）07時23分に継続時間約32分の火山性微動を観測しました。火山性微動を観測したのは2010年1月29日以来です。

- ・地殻変動の状況（図9～12）

4月15日から20日にかけて、大穴火口付近でGPS繰り返し観測を実施しました。前回（2009年10月29日～11月2日）の観測結果以降、大穴火口を挟む基線で伸びを示す変化が観測されました。

広域のGPS連続観測では、大穴火口を挟む高山 - 一切経山の基線で、2009年末から伸びを示す変化が観測されていましたが、4月に入って伸びを示す変化は鈍化し、ほとんど変化はありません。

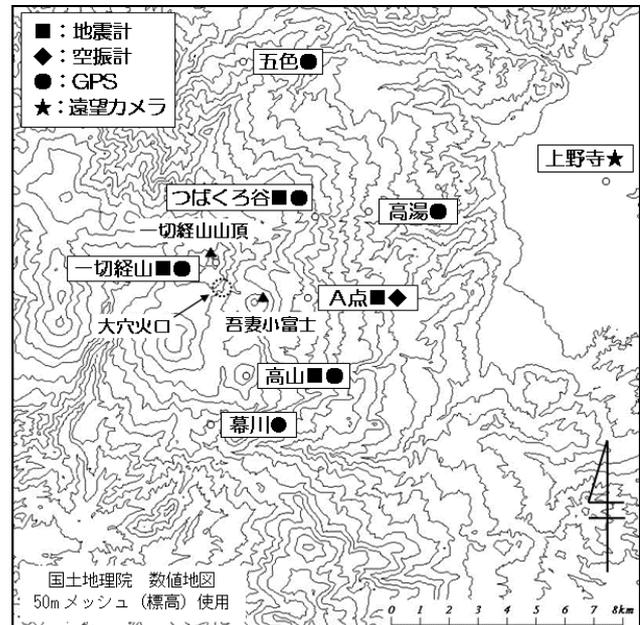


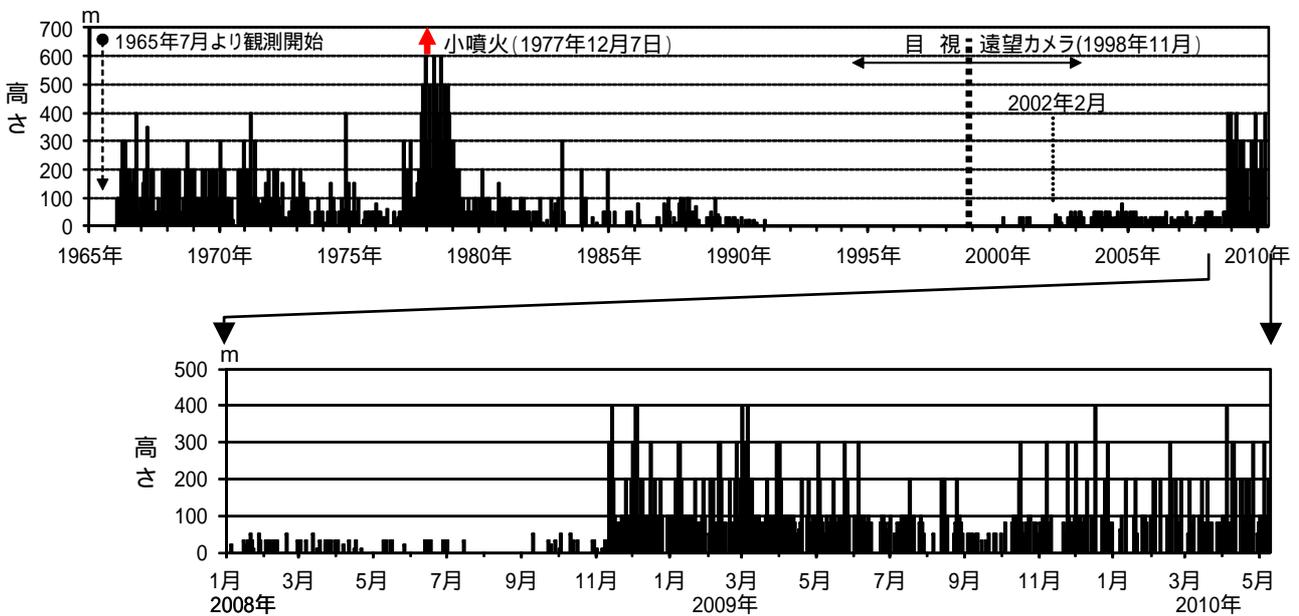
図1 吾妻山 観測点配置図

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成22年5月分）は平成22年6月8日に発表する予定です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平20業使、第385号）。



**図 2 吾妻山 大穴火口からの噴気の状態（4月4日 12時51分頃）**  
 福島市上野寺（大穴火口から東北東約 14km）に設置した遠望カメラによる。  
 大穴火口からの噴気の高さは 400m。



**図 3 吾妻山の噴気の高さ 上段：月別最大噴気（噴煙）高（1965年7月～2010年5月9日）**  
**下段：日別最大噴気高（2008年1月～2010年5月9日）**

1998年以前は福島地方气象台（大穴火口の東北東約 20km）からの目視観測です。

1998年から遠望カメラ（大穴火口の東北東約 14km）による観測です。

2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さです。

2002年2月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。

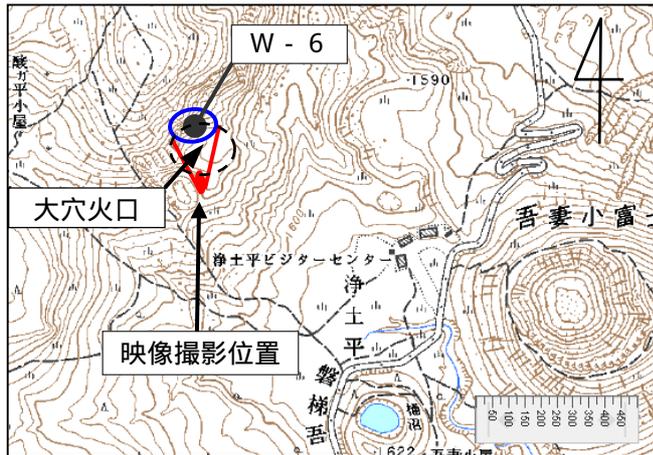


図4 吾妻山 可視画像及び地表面温度分布<sup>1)</sup> 撮影位置（図5～6）

国土地理院 数値地図 25000（地図画像）『福島』を複製

○：大穴火口付近の赤外画像撮影範囲  
 ✓：撮影方向

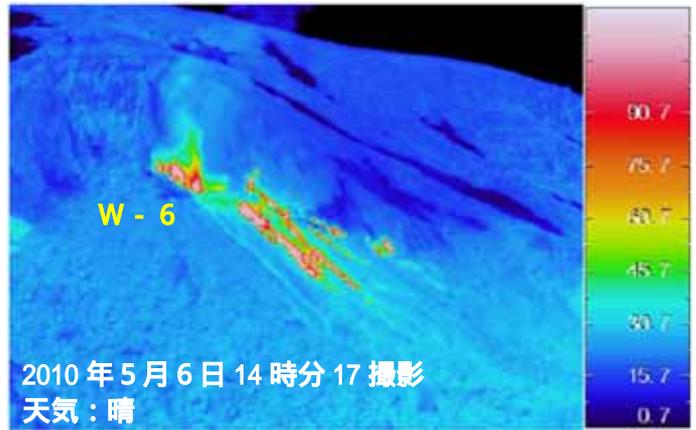


図5 吾妻山 大穴火口 W - 6 噴気孔周辺の可視画像（左）と地表面温度分布<sup>1)</sup>（右）  
 実線赤丸で囲んだのが、硫黄の燃焼で上がっている青白い煙です。



図6 吾妻山 大穴火口のW - 6 噴気孔周辺の夜間の状況（2010年5月6日18時59分撮影）  
 硫黄が燃焼している個所が赤又は白く見えます。

図7 吾妻山 大穴火口付近の状況（2010年5月6日21時42分頃）  
 福島市上野寺（大穴火口から東北東約14km）に設置した遠望カメラによる。実線赤丸で囲んだ個所が白く見えるは、硫黄の燃焼によるものです。

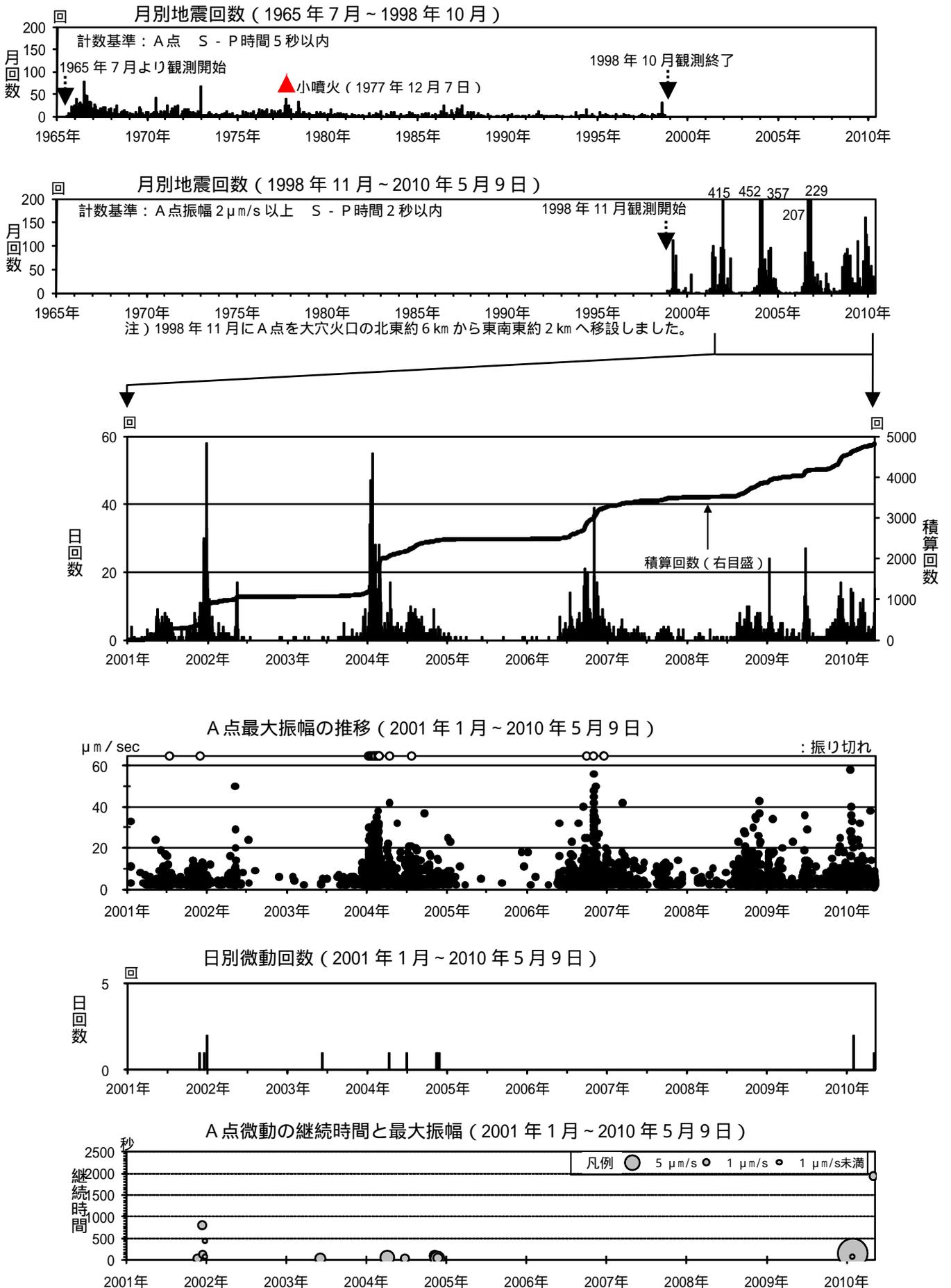


図8 吾妻山 地震活動経過図

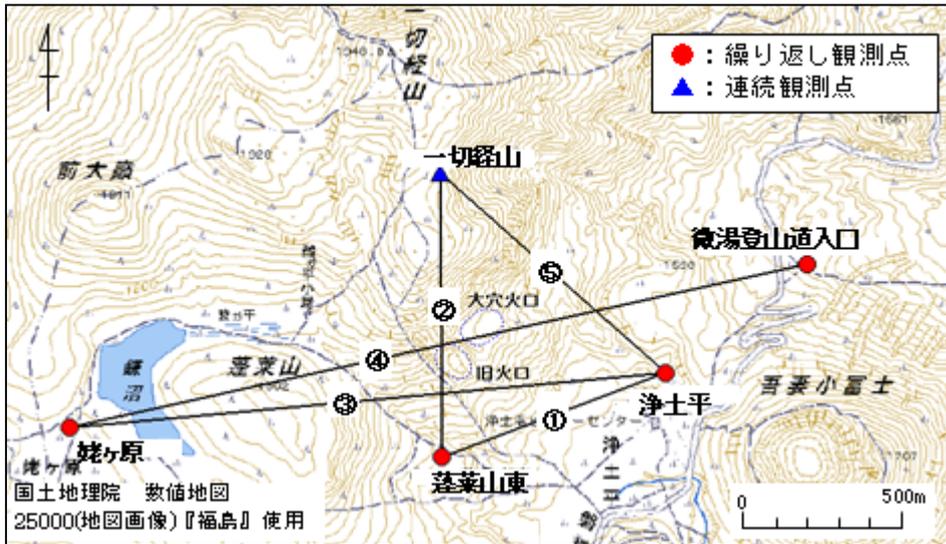


図9 吾妻山 GPS繰り返し観測及び連続観測の各観測点および基線の位置  
GPS基線 ~ は図10上段の ~ に対応しています。

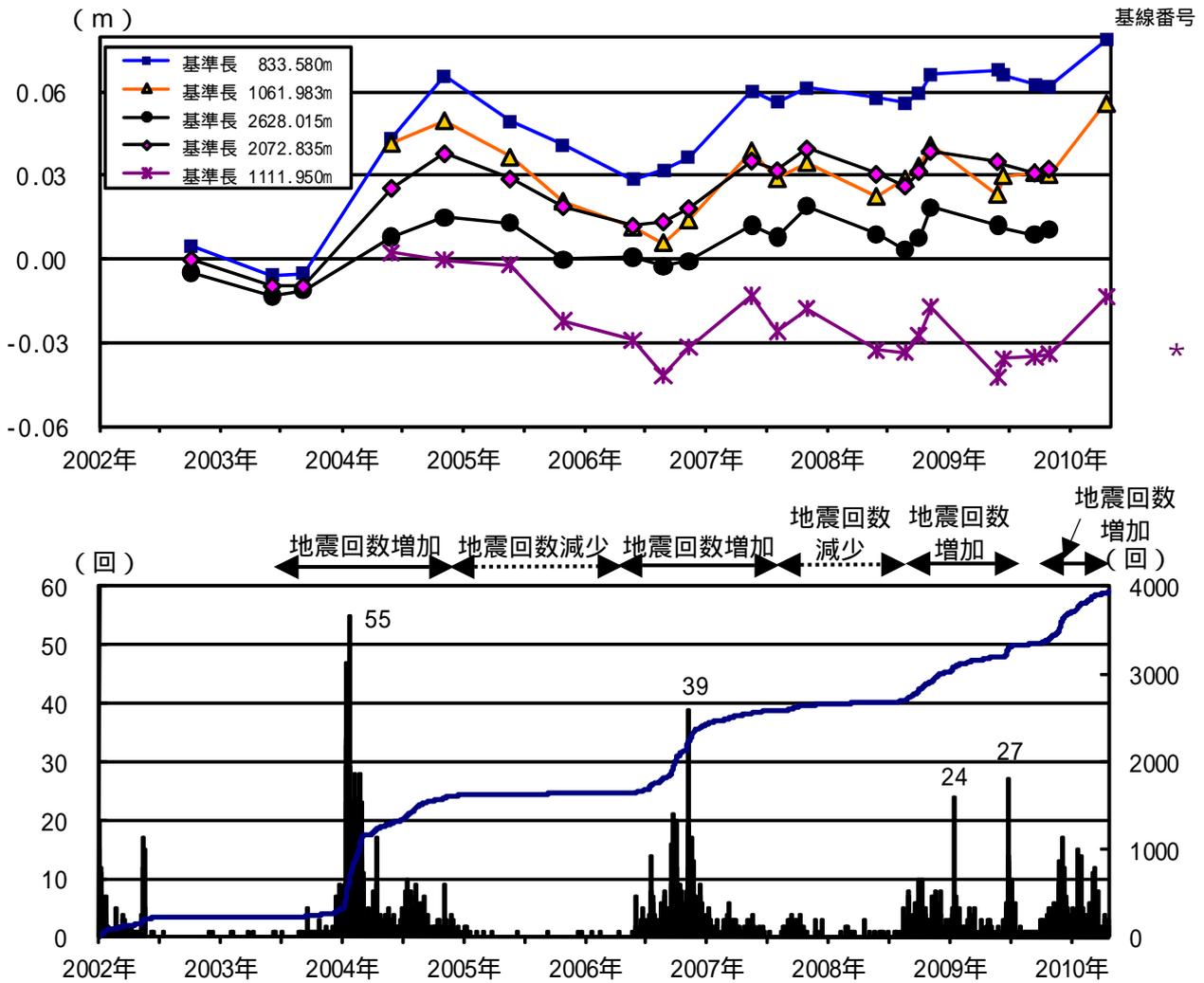


図10 吾妻山 上段：GPS繰り返し観測による各観測点間の基線長変化図(2002年9月～2010年4月)  
下段：日別地震回数(下：2002年1月～2010年4月)  
上段の ~ は図9のGPS基線 ~ に対応しています。

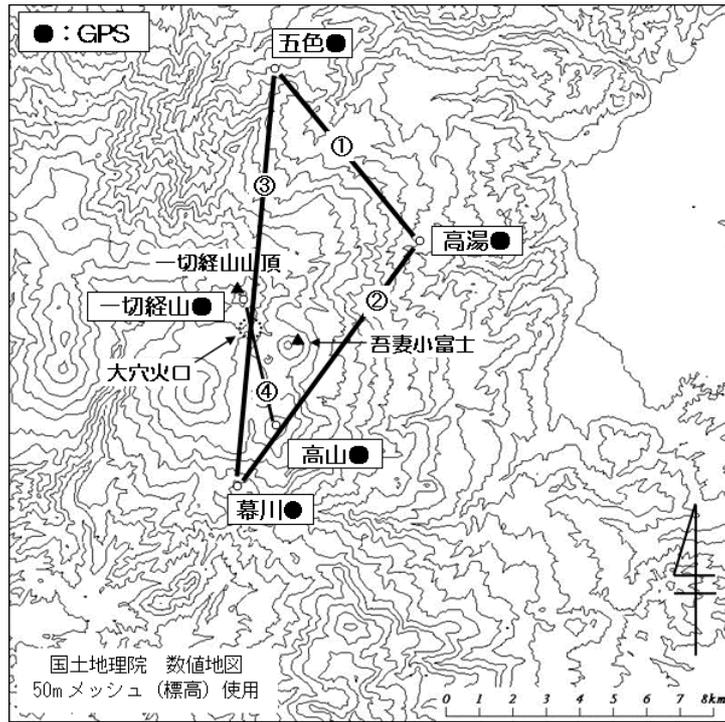


図 11 吾妻山 GPS 観測点配置図  
GPS 基線 ~ は図 12 の ~ に対応しています。

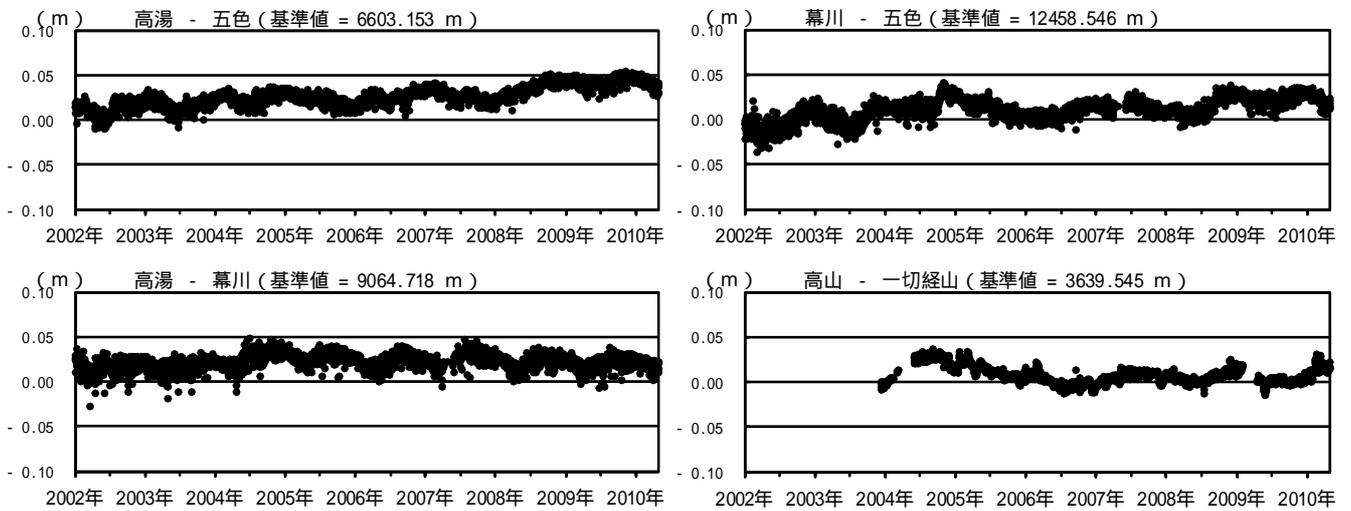


図 12 吾妻山 GPS 基線長変化図（2002 年 1 月～2010 年 4 月）  
~ は図 11 の GPS 基線 ~ に対応しています。  
幕川観測点と高山観測点が障害のため、一部に欠測があります。